

Entrepreneurship, Your Style

～女性起業家の挑戦～

本フォーラム、第一部の「パネルディスカッション」では、愛知県に縁のある3名の女性起業家たちをパネリストにお招きして、「挑戦」を切り口に事業継続・拡大における転機や学びをお話いただきます。

▶ 起業した時にまず何に挑戦したか。

▶ 起業後から今までで、一番やってよかったと思える挑戦は。

MODERATOR モデレーター

加賀さらら氏

株式会社ベクトルVOICE
代表取締役

司会者、研修講師、オンライン研修テクニカルサポート。2004年から司会者として活動。コロナを機に企業研修がオンライン化し、「リモートで研修事務局をして欲しい」という企業からの依頼を請けてオンライン研修テクニカルサポート事業をスタート。2020年愛知県主催「あいち女性起業家・経営者支援プログラムCOMPASS」に参加。この時に作ったホームページがきっかけとなり、2022年株式会社設立。全国各地の司会者・講師が在宅で働ける仕組みを構築し、現在約10名のスタッフで年間数百件の企業研修をサポートする。

PANERIST パネリスト

村井美映氏

株式会社スペース
代表取締役

蒲郡出身。「物流業界に関わるすべての人へしあわせの架け橋となる」というミッション(使命)を掲げ、運送会社同士の協業を促し、中継輸送でトラックドライバーの日帰り運行を可能にするプラットフォーム「ドラ基地」をリリース。昔からあった中継輸送の仕組みだが、今ここで今までどうして実現できなかったかを洗い出し、私たちが架け橋となることで中小事業者でも行える中継輸送を提案している。東三河ビジネスプランコンテスト2023 第1位。マサチューセッツ工科大学ベンチャーフォーラム8賞受賞。J-staXにてシリコンバレー渡航などを経験。

菅沼美久氏

株式会社トライエッティング
取締役副社長兼COO

2016年、知能業務の自動化を支援するAI会社を共同創業、取締役副社長兼COOに就任。創業以来、管理部門を掌管。その他、母校の起業家プログラムのメンターや米国内務省主催の国際リーダー交流プログラム(IVLP)に採択されて渡米以来、さらに女性活躍推進の活動に力をいれている。私生活では、1児の母。産休・育休をほぼとらずにフルタイム復帰。1年間、家庭保育での育児とリモートワークでの仕事を両立する大変さを実感。改めて女性のみならず、皆が仕事や育児、その他も選択し、自分らしく生きるためにはどうしたらよいか模索中。

向井桃子氏

株式会社MONA company
代表取締役

第2子の出産後、出血量が多くナプキンでかぶれた経験から、月経ディスクに出会う。「娘が安心して使える国産使い捨てディスクを提供したい」と2021年に出演したYouTube番組『令和の虎』で資金調達に成功し、翌年株式会社MONA companyを設立。2023年2月に国内初の使い捨て月経ディスク「MOLARA」を販売開始し、1年半で3万枚を売り上げ多数メディアでも話題に。「月経ディスクを通じて多くの選択肢を広め、生理や体について考えるきっかけを提供したい」とセミナー活動も展開中。

INTRODUCTION

女性起業家スケールアップ支援プログラム 参加起業家紹介 (50音順)

本フォーラムで成果発表を行う10名の女性起業家についての詳細は右記QRよりご覧いただけます。



青山しのぶ

NPO法人イロドリ

管理栄養士。生まれつき重度のアトピー性皮膚炎があり、産後の栄養不良から2歳・5歳を抱えてほぼ寝たきりに。その後、視覚障がい者の父の介護も経験し、「健康」でなければ自分の望む人生を選択できない現実、そして『食』なくして『健康』なし!と確信し、2022年NPO法人イロドリを設立、理事長に就任。2024年より、尾張旭市役所食堂事業と就労継続支援B型事業にて野菜の無農薬栽培を開始する。



浅野 順子

星空Kids English&Japanese

慶應義塾大学卒業。テレビ局勤務、英語講師歴8年。発達特性のある男の子ママ。「リズム英語知育プログラム」を開発。500名以上の乳幼児、園、産婦人科などで、親子レッスンを提供。「発達特性あるなしに関わらず子供の一等星を見つけられるように」という想いの元、習い事を躊躇する親と習い事を結び付ける企画を開始。習い事企業向けの「発達凸凹の子OKのフレンドリーマーク運動」や、専門家による講師研修会、オンラインスクールなどを模索中。



加藤 協子

kaan to color

グラフィックデザイナー加藤×カラーセラピスト岡田からなるアップサイクルブランド。アップサイクルの活動中、カラーセラピーと布を用いた商品制作をしていた岡田と出会い、アップサイクルと色彩心理の効果を掛け合わせることで「エンカルの活動をしながら、自分自身を大事にできる」と意気投合。高級な生地と唯一無二の配色が特徴の商品を生み出すアップサイクルブランド'kaan to color'として活動中。



佐々木 美華

一般社団法人親子発達サポートそーる

一児の母、大阪出身、名古屋在住。神戸大学卒業後、企業や保健センターで保健師、心療内科産婦人科等で看護職として20年以上働く。大学院にて多文化子育てサークルの可能性について、親支援の重要性を明らかにする。知的に障害がある息子の子育ては一筋縄ではいかず、リハビリや療育に追われた乳幼児期を過ごし、多くの学びと経験を重ねる。保健師経験と障害児子育ての経験を活かし、地域で障害児のいる家族の一つの受け皿になれるように現在の事業を実施している。



橘 れい

橘れいARTofLIFE

日本画家：日春展外務大臣賞/日春賞受賞。三越販売。Instagramで累計200以上の受注販売。絵画教室：4歳から70代まで、刈谷市と豊田市に計11クラス200名弱の生徒を抱える。女性起業家応援：オンラインサロン運営、ママこそラジオ主催。チェキ日本画：体験型インバウンドを京都で企画。絵の先生講座：毎年絵の先生を育成し資格授与。卒業生は起業家として絵画教室を運営継続。



富田 恵梨華

おうち美容室

静岡生まれ。美容師歴18年。美容師として活躍していたが、母親になったことで社会との繋がりを失い、孤独や産後うつに悩まされる。美容師でありながら、自身を美しく保つことができず、無気力な日々を送るなか、過去の自分のように苦しむ方々のために何かできないかと考え「おうち美容室」を立ち上げる。母親が自分を大切にすることで家庭が明るくなることを目指し、自分自身を大切にすることが、より良い家庭環境を作る第一歩だと信じ活動中。



蓮尾 智紗子

Move on!!

企業広報出身PRS認定PRプランナー。「社会にワクワクを」をミッションに2018年「Move on!!」を開業。PRプランナーとして自身の企画を持ちたいという思いから2022年に愛知のシルクアパレルブランド「Cafco.dalla」をクラウドファンディングでローンチ。日本青年会議所主催TOYOP2023(青年版国民栄誉賞)でファイナリスト賞を受賞。



三野 昌江

志月

札幌出身 二児の母。ファッション系専門学校を卒業→東京と名古屋、計13年企業パタンナーとしてアパレル会社で勤務、家庭の事情でドイツで4年生活をし、帰国後、着物や帯が眠っていると沢山の山の人から聞き、前職の経験を活かしてリメイクを始める。2019年～和雑貨と手描きのストールで『志月』起業、中日文化センター講師、2020年～名古屋三越、名鉄百貨店など出店、2023年TOYOTAのアップサイクルをテーマにしたコンテストでアート部門準グランプリ受賞。



三橋 かな

ねんねブーケ

広島生まれ。教育大学卒業後、アナウンサーへ。退職後、出産×働くの大きな壁にぶち当たる(待機児童やマタハラ経験)。2人目出産後は子どもの夜泣きに5年以上悩み、産後うつに。自分で自分を助けるために、「乳幼児の睡眠」分野を勉強(国際資格取得済み)。その後、このノウハウ・知識を多くの夜泣きで悩むパパママに届けたいと思い、独立。孤独な育児を防ぎ、妊娠期から子育て期の切れ目ない「個々の状況に寄り添った支援」を行う。これまで2,500人以上の相談実績、大学での特別講師、講演経験多数。



南田 理恵

一般社団法人ママズケア

「ママと赤ちゃんの笑顔のために」産後ケアで女性支援のできる助産師・看護師の育成事業。子育て、介護、更年期などで離職した助産師や看護師に研修を行い地域で子育て支援ができる人材を育成し、活躍できる場として助産所を全国に4ヶ所運営。

